

総研大ニューズレター

第 11 号 2009. 4 発行

● 目次

- 【今月のトピック】 「第3回 総研大 学術交流会 開催（葉山キャンパス）」
全学事業推進室
「平成 20 年度（第 14 回）長倉研究奨励賞研究発表会が
開催されました 学務課研究協力係」
「学位記授与式を開催 総務課広報係」
「アジア冬の学校を開催 宇宙科学専攻」

【各種募集】

【イベント情報】

【編集後記】

【今月のトピック】

「第3回 総研大 学術交流会 開催（葉山キャンパス）」

■開催日

平成 21 年 3 月 23 日（月）

■開催場所

総研大葉山キャンパス・湘南国際村センター

■参加者

60 名：招聘講演者，総研大過年度修了生，在学生(3 月修了生含む)，総研大教員

■主な行事

- ・講演会 「総研大修了後の研究歴・現在の研究について」
- ・分科会（レクチャー&ディスカッション）「みんなで語ろう，研究者のキャリアパス！
～欧米およびアジアで働く～」
- ・ポスタープレゼンテーション（在学生，学位取得者及び修了生による各自の研究内容）



平成 17 年度に行われた国際シンポジウム「アジア地域における学術文化交流ネットワーク」において，課題として提示された「国際的学術ネットワークの形成」を目指して開催されている学術交流会も今年で 3 回目を迎えました。

学術交流会では，各研究科から推薦された国際的に活躍する修了生が招聘され，研究成果の発表や議論が行われ，招聘者・教員・修了生・他専攻の学生間での様々な交流がありました。

最初の学長挨拶の後、講演が行われました。竹丸先生はアメリカで研究室を構え、国籍の異なるポストや学生の指導を行なっています。講演では「Building a Successful Scientific Career」というタイトルの講演でポストやファカルティなどのアカデミックポストへの申請の仕方やアメリカのシステムについて、自身の経歴とともに紹介されました。また、どうしたらサイエンスにおいて成功を収められるかアクティビティを高く保つかなど最新の研究結果を含めとても面白く話されました。その話に学生たちの研究生生活へのモチベーションがさらに上がったようです。

元 外務省在ニュージーランド日本大使館 専門調査員の森本さんは「Hard time sometimes becomes a good time」というタイトルで話しましたが、博士課程で行った研究を活かすとともに、一般的なコースに嵌まらずに自分で研究の道を切り開いていく様子は、学生たちの心を強く動かしたようでした。



「みんなで語ろう、研究者のキャリアパス！～欧米およびアジアで働く～」として2つの分科会が行われ、それぞれ苦労した点やその国で働くことの面白さを紹介してくれました。分科会の4人の講演者に共通していたのは、強い好奇心を活かすことと与えられた状況を楽しむということでした。

1人の講演者はコミュニケーションスキルを学びたいために外国での研究生生活を選びました。最初のうちは同じ英語でも出身国によって発音が異なるので、意図を伝えるのが難しかったそうです。金曜パーティに必ず参加するうちに、発音にも慣れ、今ではその研究所にいる多くのポストと研究面でも生活面でも気軽に話し合えるようになったそうです。もう一人の講演者は、国が違うとYesの意味も違い、約束通りに研究が進まずがっかりすることも多いそうです。それでも恐れずにtryすることが大切で、だからこそ面白い研究や研究材料に巡り合うことができるのだと話してくれました。参加者たちは大きく頷きながら聞いていました。



翌日学位を取得する学生が多く参加したポスター発表はとても充実していました。博士を取得するに値する研究はポスターにびっしり書き込まれており、奇数と偶数に分かれて行った正味2時間半のディスカッションタイムは短すぎたと不満も出るほど。このポスター発表のセッションには葉山にいるポストにも参加してもらったので、さらに盛り上がり、あちこちで熱く議論が続いていました。

その後の意見交換会では、これまでの研究生生活やこれからのポストについて話は尽きず、笑い声や歓声が上がっていました。終始リラックスモードの中で、教員の方々も総研大から旅立つ学生に励ましの言葉をかけていました。

参加者に行ったアンケートでは、いずれのセッションも「大変参考になった」という意見が多かったのですが、専門的な研究についてもっと議論したいので、ポスターセッションを充実させ

てほしいという意見もありました。次年度の学術交流会からはベストポスター賞の表彰が企画されています。これにより参加者が増えてくれば、要望に答えることができるのではないかと考えています。また、「今後協力して研究や事業のプロジェクトを行いましょう」といった相談をしている参加者もいて、ここで芽生えた繋がりが発展してくことを期待させてくれました。

時間	プログラム	
12:40-13:40	受付	
13:40-14:00	開会式 挨拶 高畑尚之 学長 司会 平田光司 学長補佐	
14:00-14:40	講演 1 : Building a Successful Scientific Career 竹丸憲一 Assistant Professor, Takemaru Lab, SUNY at Stony Brook, Dept. of Pharmacology 遺伝学専攻 1997 年修了	
14:40-15:20	講演 2 : Hard time sometimes becomes a good time 森本利恵 元 外務省在ニュージーランド日本大使館 専門調査員 地域文化学専攻 2006 年修了	
15:20-15:30	休憩 (コーヒープレイク)	
15:30-17:00	分科会 (レクチャー&ディスカッション) “Let's talk! Career path: Working in Europe, USA or Asia”	
	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>グループ A 【欧米の研究環境】</p> <p>講演 A-1 : What differs in the research environment between Japan and Europe: a personal view Leonard M.G.Chavas, Ph.D. Research Associate, The Univ. of Manchester 物質構造専攻 2005 年修了</p> <p>講演 A-2 : Research environment in the U.S. Kin Foon Kevin Wong, Ph.D. Research Fellow, Dept of Anesthesia and Critical Care, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School 統計科学専攻 2006 年修了</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>グループ B 【アジア地域の研究環境】</p> <p>講演 B-1 : Postdoc-life in Taiwan 高橋智子 博士後研究員 台湾中央研究院天文及天文物理研究所 天文科学専攻 2007 年修了</p> <p>講演 B-2 : Say! The latest situation of the lives as the researchers in China 米澤隆弘 講師, Fudan University (復旦大学) School of Life Science(生命科学学院) 生命体科学専攻 2007 年修了</p> </td> </tr> </table>	<p>グループ A 【欧米の研究環境】</p> <p>講演 A-1 : What differs in the research environment between Japan and Europe: a personal view Leonard M.G.Chavas, Ph.D. Research Associate, The Univ. of Manchester 物質構造専攻 2005 年修了</p> <p>講演 A-2 : Research environment in the U.S. Kin Foon Kevin Wong, Ph.D. Research Fellow, Dept of Anesthesia and Critical Care, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School 統計科学専攻 2006 年修了</p>
<p>グループ A 【欧米の研究環境】</p> <p>講演 A-1 : What differs in the research environment between Japan and Europe: a personal view Leonard M.G.Chavas, Ph.D. Research Associate, The Univ. of Manchester 物質構造専攻 2005 年修了</p> <p>講演 A-2 : Research environment in the U.S. Kin Foon Kevin Wong, Ph.D. Research Fellow, Dept of Anesthesia and Critical Care, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School 統計科学専攻 2006 年修了</p>	<p>グループ B 【アジア地域の研究環境】</p> <p>講演 B-1 : Postdoc-life in Taiwan 高橋智子 博士後研究員 台湾中央研究院天文及天文物理研究所 天文科学専攻 2007 年修了</p> <p>講演 B-2 : Say! The latest situation of the lives as the researchers in China 米澤隆弘 講師, Fudan University (復旦大学) School of Life Science(生命科学学院) 生命体科学専攻 2007 年修了</p>	
17:00-17:30	参加者 チェックイン (宿泊室)	
	ポスター発表 司会 岩瀬峰代 全学事業推進室 室長	
17:30-18:50	奇数番号 : 17:30-18:10	
	偶数番号 : 18:10-18:50	
18:50-19:00	移動 (10 分)	
19:00-21:00	意見交換会 (夕食) 司会 岩瀬峰代, 米澤隆弘, 鈴木留美子	
	挨拶 野村雅一 副学長 2008 年度 学位取得者 一言スピーチ 祝辞 (田村義保 統計科学専攻教授, 金子修 核融合科学専攻教授)	



「平成20年度（第14回）長倉研究奨励賞研究発表会が開催されました。」

本年度は、平成21年3月24日（火）学位記授与式に先立ち平成20年度（第14回）長倉研究奨励賞研究発表会が開催されました。候補者がそれぞれの分野で研究してきた内容を発表するとともに、質疑応答が行われました。

今回、候補者4名の学生の中から素粒子原子核専攻の住友洋介さんと、遺伝学専攻の渡部聡朗さんが、長倉研究奨励賞を受賞しました。またほかの2名の学生には総合研究大学院大学研究賞が贈られました。

受賞者一覧

○長倉研究奨励賞



住友 洋介 高エネルギー加速器科学研究科 素粒子原子核専攻
研究テーマ「M理論に存在する膜の有効理論についての研究」



渡部 聡朗 生命科学専攻
研究テーマ「マウス生殖細胞における新規小分子RNAの発見とその機能・生合成経路の解析」

○総合研究大学院大学研究賞



田邊 優貴子 複合科学専攻 極域科学専攻
研究テーマ「南極湖沼における藻類群集の光生理・生態学的研究」



出馬 圭世 生命科学専攻 生理科学専攻
研究テーマ「ヒトの利他性を支える脳内メカニズムの検討」

【文責：学務課研究協力係】

「3月24日（火）に学位記授与式が行われました」

3月24日（火）葉山キャンパス2階講堂において平成20年度学位記授与式が行われました。

（修了生は、課程博士57名、論文博士2名）

式典に先立ち、藤井隆史さんと白水芳枝さんのピアノデュオによる演奏が行われました。

式典は、開式の挨拶の後、修了生一人一人に、学長より直接学位記が手渡され、修了生は緊張した面持ちながらも清々しい表情で学位記を受け取っていました。

高畑学長からは、「本日授与された学位記は、皆さんが人類の行く末に関わる大きな問題に挑

戦できる心と力を有することの証しに他なりません。人類の未来はみなさんの双肩にかかっています」という力強い式辞があり出席者は真剣な面持ちで聴き入っていました。最後に、修了生代表として物理科学研究科宇宙科学専攻の和田豊さんより謝辞が述べられ、閉式となりました。



式辞を述べる高畑学長



謝辞を送る和田豊さん

【文責：総務課広報係】

「宇宙科学専攻 アジア冬の学校を開催」



冬の学校の一コマ



所内見学-わが国初の人工衛星
「おおすみ」の模型を前に-

2009年2月24日(火)から26日(木)までの3日間、宇宙科学専攻・相模原キャンパス(JAXA宇宙科学研究本部)において2008年度総研大アジア冬の学校が開催されました。物理科学研究科5専攻で開催されるこのアジア冬の学校も今年度で4回目を数えます。5専攻共通のテーマ「ゆらぎと構造形成の科学-生命・物質・宇宙-」のもと、今回の宇宙科学専攻のサブテーマは「最先端技術で拓く宇宙科学」としました。スペースを活動の舞台とする宇宙科学は、理学と工学の密接な協力があるはじめて推進できます。このため、講義では、スペースからの天文学・月科学、探査機や推進系の技術、そして宇宙科学データアーカイブスなど、宇宙物理学・工学の最先端のトピックをバランスよく扱うことを心がけました。所内ツアーでの、模型やパネルを使った日本の宇宙科学の歩みの説明や、クリーンルーム内で準備作業中の金星探査ミッションPLANET-C衛星の見学などとあわせ、宇宙科学の現場として、ここ宇宙科学専攻で理工一体となった研究・教育が行なわれていることを参加者が肌で感じる事ができたなら、筆者にとって望外の喜びです。

今回の冬の学校には、中国から6名、台湾から5名の大学院学生の参加がありました。互いに言葉が通じることもあって全員すぐに親しくなり、また、どの講義も大変熱心に聴講・質問する姿が印象的でした。アジアの若い力を感じることでできた3日間だったと言えます。この冬の学校の活動を通じて、アジアの宇宙科学コミュニティーに研究機関そして進学先としての総研大の

存在がより広く認識されることを願っています。

【文責：宇宙科学専攻 坂尾太郎准教授】

【各種募集】・・・現在公募中の情報を掲載しています。

事 項	応募期間	提出先
平成 21 年後期 国立天文台岡山天体物理観測所共同 利用観測 http://www.oao.nao.ac.jp/support/commonuse/proposal/	4月14日(火) まで	国立天文台 岡山天体物理観測所
イノベーション ISM(教授・准教授・助教の公募) http://www.ism.ac.jp/jobs/index_j.html	～5月29日 (金)必着	統計数理研究所人事係
国立天文台研究集会 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000162.html	6月30日(火) まで	国立天文台研究支援係

【イベント情報】・・・オープンキャンパス，入試説明会，入試など大学行事に関わるもの。

4 月

日程	時間	行事名	場所
3日(金)	10:00-	基生研オープンキャンパス 2009	基礎生物学研究所
	http://www.nibb.ac.jp/opencampus/		
9日(木)		4月入学式	葉山キャンパス

5 月

日程	時間	行事名	場所
3日(日・祝) -4日(月・祝)		湘南国際村フェスティバル ・講演会 ・サイエンスカフェ ・観望会	3日 湘南国際村センター 4日 葉山キャンパス 協賛 総合研究大学院大学
16日(土)		遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所
16日(土)	10:00-16:00	基礎生物学専攻・生命共生体進化学 専攻合同大学院説明会	東京ガーデンパレスホテル
	http://www.nibb.ac.jp/graduate/ (基礎生物学専攻)		
	http://www.esb.soken.ac.jp/ (生命共生体進化学専攻)		
30日(土)	10:00-18:00	天文科学専攻 入試ガイダンス・公開講演会	国立天文台三鷹キャンパス

6月

日程	時間	行事名	場所
5日(金) -6日(土)	5日 13:30-21:00	生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	葉山キャンパス
	6日 9:30-12:00		
http://www.esb.soken.ac.jp/			
6日(土)	13:00-17:00	基生研大学院説明会	基礎生物学研究所
	http://www.nibb.ac.jp/graduate/		
6日(土)	13:00-16:45	天文科学専攻 入試ガイダンス・公開講演会	京都市リサーチパーク
13日(土)		サイエンスカフェ	湘南国際村センター 主催:葉山キャンパス
19日(金)		統計科学専攻 大学院説明会	統計数理研究所

<基盤機関の行事>

4月

日程	時間	行事名	場所
5日(日)まで		パネル巡回展「日本の宇宙科学の歴史」及び「太陽のふしぎ」	富士川楽座 協力:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
5日(日)まで		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	アクアトム 協力:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
5月6日(水) まで		企画展示; 錦絵はいかにつくられたか	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html		
6月2日(火) まで		特別展; 千家十職×みんなく: 茶の湯のものづくりと世界のわざ	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/special/senke/		
3日(金), 6日(月), 7日(火)	14:00-17:00	春の遠足・校外学習 事前見学 & ガイダンス	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/guidance09s.html		
4日(土)	9:00-16:00	国立遺伝研究所一般公開	国立遺伝学研究所
	http://www.nig.ac.jp/koukai/koukai2009.html		
5日(日)まで		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	アクアトム 協力:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml		
11日(土)		第28回宇宙科学講演と映画の会	新宿明治安田生命ホール 主催:宇宙航空研究開発機構
	http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/2009/0411_kouen.shtml		
11日(土)	14:00-16:00	第304回歴博講演会 「伊勢市の版木に見る錦絵の彫と摺」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html		

14日(火)	14:00-16:00	第223回 日文研フォーラム メディア・ミックスの系譜 -近代文学とベストセラーと視覚文化-	ハートピア京都 3階会議室
http://www.nichibun.ac.jp/event/forum.html			
14日(火)- 6月21日(日)		ミニ企画展示: 錦絵に見る江戸の料理茶屋	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/room_03.html#mini			
18日(土)	15:00-16:30	素粒子物理スペシャルトークショー ~反物質の消滅は宇宙史上最大の マジック?~	つくば国際会議場「エポカルつく ば」大ホール 主催:高エネルギー加速器研究 機構, 数物連携宇宙研究機構
http://www-conf.kek.jp/magic/			
20日(月) -22日(水)	15:30-17:00	EMBL 合同ミーティング; The 9th NIBB-EMBL Symposium "Functional Imaging from Atoms to Organisms"	岡崎コンファレンスセンター 主催:基礎生物学研究所
http://www.nibb.ac.jp/event/event_detail.php?no=666			
21日(火)- 5月10日(日)		くらしの植物苑特別企画 伝統の桜草	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule.html			
23日(木)-7 月21日(火)		企画展「チベット ポン教の神がみ」	国立民族学博物館
http://www.senri-f.or.jp/tomonokai_kouen/index.html			
27日(月) -28日(火)	10:00-16:00	データ同化論・実践編	統計数理研研究所
29日(水・祝)	13:30-15:30	第121回観察会 「歴博くらしの植物苑 花ごよみ」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule.html			

5月

日程	時間	行事名	場所
5月予定		パネル巡回展 「日本の宇宙科学の歴史」	大洗わくわく科学館 協力:宇宙航空研究開発機構
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			
5月予定		パネル巡回展「太陽のふしぎ」	神戸市立青少年科学館 協力:宇宙航空研究開発機構
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			
5月予定		パネル巡回展「月のふしぎ」	雲仙岳災害記念館 協力:宇宙航空研究開発機構
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			
5月予定		パネル巡回展「日時計の楽しみ」	日立シビックセンター科学館 協力:宇宙航空研究開発機構
http://www.isas.jaxa.jp/j/topics/event/index_tenji.shtml			
1日(金)	13:30	企画展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/now.html			
9日(土)	11:00-12:00	歴博探検「江戸時代の外国人」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore/index.html			

9日(土)	14:00-16:00	第305回歴博講演会 「呪術を使った職能者たち」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
16日(土), 23日(土), 30日(土)	13:30-	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html		
18日(月) -21日(木)	10:00-16:00	サンプリングの入門コースと調査データの分析法	統計数理研究所
23日(土)	13:30-15:30	第122回くらしの植物苑観察会 「佐倉城址の初夏の植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/plant/index.html		
26日(火)	10:00-16:00	Rによる記述多変量解析	統計数理研究所

6月

日程	時間	行事名	場所
5日(金)	10:00-16:00	統計データの可視化	統計数理研究所
6日(土)	13:00-17:30	第68回歴博フォーラム 「東アジアの建築文化」	新宿明治安田生命ホール 主催:国立歴史民俗博物館 ※注)事前申込必要
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html		
6日(土)	14:30-16:30	歴博映画の会	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/movie.html		
13日(土)	14:00-16:00	第306回歴博講演会 「中世の借金事情」	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html		
19日(金)		統計数理研究所オープンハウス 2009	統計数理研究所
20日(土)	13:00-17:00	第6展示室関連フォーラム第69回 「高度経済成長と生活変化」	一橋記念講堂 主催:国立歴史民俗博物館 ※注)事前申込必要
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule.html#1		
20日(土), 27日(土),	13:30	常設展示ギャラリートーク	国立歴史民俗博物館
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/regular/gallerytalk.html		
23日(火) -24日(水)	10:00-16:00	薬剤疫学入門	統計数理研究所
26日(金)	18:00-21:00	マーケティングのためのデータ解析入門	統計数理研究所
27日(土)	13:30-15:30	第123回くらしの植物苑観察会 「樹をみて絵図を読む」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
30日(火) - 8月30日(日)		企画展示:日本建築は特異なのか -東アジアの宮殿・寺院・住宅-	国立歴史民俗博物館

<教員・学生の受賞情報>

文化科学研究科

メディア社会文化専攻

○ 大倉孝昭 学生

WBE2009 主催 非商用ソフトウェア・コンペティションにて

最優秀ソフトウェア・システム賞 受賞

物理科学研究科

機能分子科学専攻

○ 香月浩之 助教

社団法人日本化学会 主催 第3回 PCCP Prize 受賞

天文科学専攻

○ 勝川行雄 助教

宇宙科学振興財団 主催 第1回（平成20年度）宇宙科学奨励賞 受賞

核融合科学専攻

○ 本島修 専攻長・教授

Royal Swedish Academy of Engineering Sciences の

Foreign Member of the Academy に選ばれました

複合科学研究科

情報学専攻

○ 鯉淵道紘 助教

財団法人船井情報科学振興財団 主催 船井情報科学奨励賞 受賞

<教員のメディア出演情報>

先導科学研究科

生命共生体進化学専攻

○ 長谷川真理子 専攻長・教授

TV出演 NHK 爆笑問題のニッポンの教養

放送日（予定） 4月28日（火） 23:00~23:30 総合

【編集後記】

総研大ニューズレター第 11 号をお届けします。

4 月になり、新しい年度がスタートしました。3 月は別れの月ですが、4 月は新しい出会いの月です。日本人が桜を好むのは春の別れと出会い、期待と不安など、それぞれの心に抱える思いが桜に投影されるからではないかと思えます。桜の花を見るとなぜか心騒ぐものがあります。

さて、本学でも 3 月に 59 名の修了生を送り出し、新たに 86 名の新入生を受け入れました。学位記授与式は研究者としての新たなスタートであり、入学式は研究者を志す第一歩です。修了生と新入生の今後に幸多きことを願っております。

総研大ニューズレターは葉山本部と各基盤機関の行事や取り組みなどの情報を発信し、相互に情報共有するとともに、ひいては大学としての知名度を高めることを目的としています。みなさまからの情報提供や忌憚のないご意見をお待ちしています。

〔総務課〕

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2009 年 4 月 9 日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2009 SOKENDAI